

那覇市在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療同行訪問研修報告



氏 名：下所 由美子（歯科医師）
所属施設：泉崎ファミリー歯科

分 野	訪問歯科
実施日時	令和7年5月21日（水） 13時00分～17時00分
研 修 先	サザン歯科まえた
実施報告	【訪問先1：居宅】 ● ドクター・歯科衛生士・歯科助手の3人体制で対応。 ● 入れ歯の調整が主目的。持参機材のパッキング方法や使用道具が工夫されており、非常に参考になった。 ○ 水はペットボトルで持参、舌ブラシ用のスポンジブラシ、アルコール綿の準備など、衛生的で効率的な対応が印象的。 ○ 粉塵対策として濡れガーゼ上での削合、小型ハンドピースの使用なども学びが多かった。 ● 診療内容や予定はオンライン上で管理され、訪問中でも進行が把握できる体制。 歯科助手の方が終始和やかな雰囲気を作り、患者家族の安心感にもつながっていた。

実勢報告	【訪問先２：施設】 ● 施設では初診時は診察のみ実地。処置は２回目以降。危険性のある方（不随意運動が著しいなど）への処置は控えるなど、リスク管理が徹底されていた。 ● ポータブルの削合機器は重量があり、持ち運びには３名体制が必要なことを実感した。施設での設置も狭い中で工夫して行う必要があった。歯科医師のヘッドライトの固定が安定感があり、高価すぎず、まぶしすぎず、真似したいと思った。 処置内容を書いた複写式用の紙を患者家族や病棟へ渡しており、分かりやすかった。そういう紙がないと（特に）施設の方は伝達が難しいのだろうと勉強になりました。
研修を終えて	今回の見学では、現場での安全配慮・道具の選定・チームワーク・ＩＣＴの活用など多くの学びがあった。今後の訪問診療に活かしたい。